

|      |            |      |    |      |   |      |      |
|------|------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名  | 訓点語学研究 [院] |      |    |      |   | 単位   | 2.0  |
| 担当教員 | 石川 洋子      |      |    |      |   |      |      |
| 授業形態 | 講義         | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 1 | 授業番号 | 4389 |

●授業のテーマ

訓点語について研究する。

●到達目標

「訓点語」と「訓点資料」について学習し、実際に訓点資料を読むことにより、訓点語をより深く理解する。

●学習内容(授業概要)

平安・鎌倉時代から江戸時代までの訓点語について研究する。

学生諸君は訓点語学の初学者であるから、先ず「訓点語」と「訓点資料」について概説する。その後、各時代の代表的な訓点資料を内典と外典それぞれについて主に複製本によって読解することを通して、ヲコト点・省画仮名・訓点語彙・訓点語の文法などについて、和文語との比較を行いつつ研究する。また、五帖御文など各種の仮名書き聖典に現れる言葉についても併せて研究する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 訓点語概説
2. 訓点語学研究史
3. 平安時代初期
4. 平安時代中期
5. 平安時代後期
6. 院政期
7. 鎌倉室町時代
8. 江戸時代
9. 近代：漢文教育
10. 音韻
11. 語彙
12. 文法
13. 仮名
14. 片仮名交り文
15. まとめ

《後期》

1. 訓点資料・訓点語彙について
2. 『成実論』
3. 『東大寺諷誦文稿』
4. 『金光明最勝王經』
5. 『大唐西域記』
6. 『御堂関白記』
7. 『日本書紀』
8. 『史記孝景本紀』
9. 『文選』

10. 『蒙求』
11. 『遊仙窟』
12. 『論語集解』(清原本)
13. 『論語集注』
14. 『五帖御文』
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前学習は、テキストの下読みをして出席することを要する。

事後学習は、学習した内容をまとめ、必要なところは調査し補足しておく。

●成績評価方法・基準

レポート試験 60%、平常点 40%

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名:『訓点語辞典』、著者名:吉田金彦・築島裕・石塚晴通・月本雅幸編、出版社:東京堂出版、販売先:(株)D○

●参考文献/その他

参考文献は、講義の中で指示する。

●履修上の注意

特になし。